



平成21年8月5日

各位

本社所在地 栃木県足利市南大町443番地
会社名 株式会社 タツミ
代表者の役職氏名 取締役社長 山本千秋
コード番号 7268
問い合わせ先 経理部長 井上雄象
TEL (0284) 71-3131

業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の業績予想について、平成21年5月7日付当社「平成21年3月期決算短信(非連結)」にて発表しました第2四半期累計期間の業績予想を、下記の通り修正いたします。

また、期末配当予想につきまして下記のとおりご連絡いたします。

記

1. 平成22年3月期第2四半期累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

業績予想数値の修正

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-------------------|-------|-------|-------|--------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回予想(A) | 1,900 | △152 | △164 | △92 | △15.34 |
| 今回修正(B) | 2,000 | △50 | △45 | △46 | △7.67 |
| 増減額(B-A) | 100 | 102 | 119 | 46 | - |
| 増減率 | 5.3% | 67.1% | 72.6% | 50.0% | - |
| 参考(平成21年3月期第2四半期) | 3,396 | 35 | 51 | △1 | △0.26 |

(修正理由)

当社を取り巻く環境は、暫らくは厳しい状況が続くことが予想されますが、自動車各社の在庫調整が終わって、第2四半期の生産量が当初の予測を若干上回ることが予測されるため、売上高を計画比100百万円増(5.3%増)の2,000百万円に変更いたします。

また、損益面では、非常事態対応の固定費削減とその他あらゆるコストの削減を全社員一丸となって進めていることにより、営業損益は、計画比102百万円増(67.1%増)、経常損益は、計画比119百万円増(72.6%増)とそれぞれ当初の予想を上回る見込みであります。

四半期純損益は、第2四半期業績の見込みを踏まえて繰延税金資産について回収可能性を勘案した結果、当初計画比46百万円増(50.0%増)となる見込みであります。

通期の業績予想数値につきましては、業界全体の回復のスピードが依然として鈍く、第3四半期以降の動向が未だ不確定ではありますが、収益改善活動のスピードを更に上げて、当初開示した数値を死守するべく、進めてまいり所存であり、変更はしておりません。

2. 平成22年3月期末配当予想の修正

| 基準日 | 1株当たり配当金 | | | | |
|-----------------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| 前回予想 (平成21年5月7日発表) | — | — | — | — | — |
| 今回修正 | — | 0円00銭 | — | 0円00銭 | 0円00銭 |
| 当期実績 | — | — | — | — | — |
| 参考(平成21年3月期) | — | 0円00銭 | — | 0円00銭 | 0円00銭 |

(修正理由)

当社は配当金につきましては、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を図りながら、安定した配当の継続を基本方針としております。

しかしながら、当社の属する自動車業界の環境は、第1四半期において期待された程の回復がなく、今後におきましても、その回復のスピードは鈍いことが、現時点において予測されます。

また、第2四半期におきましては、収益改善活動の効果が早期計上できそうですが、第3四半期以降における改善効果の計上と業界動向の不確定さを考えると、前期の繰越損失をプラスにするまでの当期利益の計上は、現時点で不可能であると判断したため、平成21年5月7日付当社「平成21年3月期決算短信(非連結)」にて「未定」として開示しておりました期末配当予想を、今回、無配とさせていただきます。

株主の皆様には、大変なご迷惑をおかけすることを深くお詫び申し上げます。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上